

ことができた。

こうした中で制作した作品群が極めて高い評価を得たことも特筆される。『森 フォレ』は読売演劇大賞最優秀演出家賞、優秀スタッフ賞(2名)、第56回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。さらに『彼女を笑う人がいても』は第66回岸田國土戯曲賞最終候補作品となった。

普及啓発・人材育成事業では、「コミュニティプログラム」「学校・区内施設との連携プログラム」「研究育成プログラム」の3つの柱により、通年でワークショップ・レクチャー・研究会を実施しているが、こちらも新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されたことにより、学校でのワークショップの実施依頼が大きく減少したほか、長期休暇期間を中心としたこどものためのワークショップも、実施中の密を回避するため、募集人数を通常の半数程度に絞って実施した。そのような中でも、各回とも参加申し込みが多く、事業への高いニーズが改めて確認された。また、「地域の物語」では参加者の人数を減らしただけでなく、予定していた国際共同作業も断念せざるを得なかった。観客育成プログラムも「舞台芸術のクリティック」は中止、「世田谷パブリックシアターダンス食堂」については、トークのみオンラインでの実施にとどまった。

新型コロナウイルスの影響がどこまで続くかは予断を許さないが、野村萬斎芸術監督から白井晃芸術監督に交代する令和4年度以降も、新芸術監督のリーダーシップのもと、国内外の公共劇場や民間の実演団体などと積極的に連携して、作品創造及び人材交流の活性化、普及啓発・人材育成事業の充実、多様な料金設定、バリアフリー対応の充実による鑑賞機会の拡充および多言語による情報発信、新たな観客の育成等、時代の流れを的確に捉えながら、事業を展開していく。

(3)音楽事業部(せたおん)

活動拠点となる場所がない音楽事業部にとって、事業がないことは、存在していないことに等しい。新型コロナウイルスの影響による予算の大幅縮小により、事業が大幅に縮小した我慢の一年だった。実施できた事業でも、日程の延期、会場の変更、定員の半減など、制約を受けたものが多かったが、様々な取り組みを行い、存在を訴えていった。

緊急事態宣言中の開催となった「シリーズ和・華・調」は、客席が半数に制限された。当時感染者数が特に多かった沖縄から奏者、演者を招く貴重な機会だったので、1日2回公演を行った。直前に出演者の一人を欠くことになったが、一同の奮闘で、堂々の成果を収めることができた。「せたがや音楽研究所」は、半数制限の客席で、入場者をあえて中心にまとめた。宮川彬良スペシャル・プロデューサーが、入念な準備のうえ、得意の“昭和歌謡”を取り上げ、昭和世代の観客の心をひとつにした。

「室内楽シリーズ」も、音楽家や聴衆の想いを映したものとなった。『砂川涼子リサイタル』は、オペラ・アリアやロマンティックな歌曲で、会場をひととき夢の世界へ誘った。“山と音楽”をテーマにした池辺晋一郎音楽監督企画『異分野とのコラボレーション』は、山への憧れに満ちた時間だった。

「せたがやジュニアオーケストラ」は、この一年も制約が多く、苦境が続いた。それでも、オンラインのレッスンや少人数での基礎練習に励み、2度にわたるアンサンブル公演を行って、力をつけていった。全員で合奏練習できる機会は少なかったが、3年ぶりに実施がかなった「定期演奏会」では、持てる力を存分に発揮させた。世田谷区民会館が工事中のため、川崎市の音楽ホールを借用。豊かな響きに包まれ、団員にとっても、聴衆にとっても得難い体験となったが、アクセスの問題は残った。

新しく始めた試みもある。世田谷の音楽家と共に、独自の公演を制作する「世田谷アーティスト支援企画 Discovery Setagaya Sounds」をスタートした。会場の変更を余儀なくされたが、練達の音楽家である井上鑑がシアタートラムの空間に想を得て、めざましい演奏を披露、今後への道筋をつけた。

「音楽事業部広報」では、演奏会に足を運べない人たちにも楽しんでもらえるように、専用の YouTube チャンネルを作り、公演記録の公開を始めた。世田谷区からの受託で発行している「せたがや音楽通信」は依然休刊中だが、掲載のコラムをきっかけとした展覧会が世田谷美術館で開催された。さらには、展覧会に合わせ、関連する公演を制作するという広がり生まれた。

地道な努力は、ささやかでも実りをもたらす。我慢の一年間に蓄えた力の真の評価は、来たる新年度以降に問われることになる。厳しい状況は続くが、音楽事業部の存在をしっかりと根付かせていきたい。

(4)国際事業部

せたがや国際交流センター(Crossing Setagaya)を拠点に、主に在住外国人への多言語での情報提供、相談窓口の案内に加え、今年度は、国際交流活動などに取り組む地域活動団体や区内学校の活動を紹介する展示コーナーの充実を図るとともに、外国人スタッフによる絵本の読み聞かせを行うことで、新たな客層を開拓し、前年度の来館者数 1,895 人から 3,939 人へと増加させることができた。

また、区報一面による国際交流センターの紹介、ケーブルテレビ(イツコム、J:COM)への出演、他団体とのホームページや SNS による相互連携、ニュースレターの発行など広報活動にも力を入れた。

事業運営については、新型コロナウイルスの状況を見据えながら柔軟に企画変更を行った結果、外国の文化や考え方の違いなどを学ぶ「多文化理解講座」を8回、外国人と日本人が交流しながら地域を知ることができる「まち歩きツアー」を1回、外国人と日本人の交流の機会を提供する「にほんご交流会」を3回実施し、参加者から好評を得ることができた。また、イベントをオンライン配信にする、または規模を縮小するなど、感染症対策の工夫をしながら区や地域団体とも連携した事業運営をすることができた。

今後も、新型コロナウイルスの状況を見ながら、外国人と日本人が互いに理解し、地域で交流できる事業展開を進めていく。

(5)世田谷美術館

令和3年度は、事業報告のとおり前年度の経験を活かし、感染症防止対策に配慮しつつ、持続可能な運営を検討し、事業展開を行った。企画展「アイノとアルヴァ二人のアルト」、「グランマ・モーゼス展」、「ピーターラビットTM展」では、各展覧会の特性に合わせたオンラインでの日時指定制を導入し、コロナ禍において来場者の多い展覧会の運営を、安全かつスムーズに行うことができた。「アイノとアルヴァ二人のアルト」では若い世代の客層を取り込むことができ、「塔本シスコ展」では個性豊かな作品を、出身地の熊本市現代美術館など他館と協力して紹介し、マスコミなどにも取り上げられ、世間に広く周知する機会となった。「グランマ・モーゼス展」はコロナ禍以前の計画による展覧会であったが、共催者と当初計画を見直し、予算配分などの調整を行いながら運営を行うことができた。また、コレクション展の「グローバル化時代の現代美術」では、当館の所蔵作品の質の高さを改めて世間に示し、「ART/MUSIC」では、これまでにない切り口で、所蔵作品の新たな魅力を引き出すことができた。

美術鑑賞教室は、前年度はコロナ禍で全校中止となり、オンライン授業などで苦肉の策を講じたが、令和3年度は、学校と当館とが協力し、来館時間や運営方法を変えたことで、ほとんどの学校が来館できた。児童の反応からは、オンラインの画面上では伝わらない美術館でのリアル体験の重要性を、改めて再確認することができた。一方、「ナイトツアー」やパフォーマンス「夢の解剖ー猩々の乱」では、リアル体験とデジタルコンテンツのハイブリットでの展開の新たな可能性を示すことができた。

広報では、美術館に偶然現れた子ダヌキを紹介した当館のブログ記事が思わぬ反響を呼びアクセス数が急増し、当館のホームページ上で展開している他のページの閲覧誘導にもつながり、新たな客層を取り

込むことができた。

美術作品や周辺資料の調査及び収集についても、区民の皆さんが文化に寄せる気持ちと当館の様々な事業の蓄積による作家や遺族などの人との繋がり、積極的な調査研究により、令和3年度も多くの貴重な作品を収集することができ、後世の人々と社会へ文化資源を手渡す美術館の役割を果たすことができた。そして、コロナ禍でも多くのボランティアなどの市民が当館の活動を支えてくださっていることを感謝したい。

(6)世田谷文学館

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続き、4月オープンしたばかりの展覧会はその翌日から臨時休館を余儀なくされた。しかしながら昨年度の経験を活かし、ひとつひとつ確実に対処することで乗り切り、すべてが経験値として蓄積できたとも思う。様々な事象・変化への対処の経験は、これからの備えとして大事にしていきたい。

企画展は2本実施し、思い切って開催期間をできるだけ長く設定した。「イラストレーター 安西水丸展」「描くひと 谷口ジロー展」はいずれも全国的に人気のある作家だけに、この状況下での長期開催は、特に遠方にお住いで来館の計画が立てづらい方々に、とても好評だった。また、造作・輸送に関わるコストの削減や環境配慮の点からも、今後も条件さえ合えば、ひとつの展覧会をじっくり御覧いただくスケジューリングもこれからの時代に合う手法だと考える。世田谷文学館はユニークな展覧会を開催しているとの評価いただくこともあるが、今後はご期待に応える内容に加え、時代性に即した展覧会づくり・運営の面でも寄与していきたい。

教育普及活動は「どこでも文学館」を筆頭に充実した活動ができた。出張展示は区内だけでなく全国への貸出しが始まり、参加者数は18万人を超え、順調に実績を重ねている。ワークショップ等の催しはオンライン開催が多くなったが、コンスタントに実施することができた。コロナ禍が収束してもリアル・オンラインを併用する流れは変わらないと予測される。今後も、利用者を選択肢が増え、参加しやすいプログラムを開発していく。

そして、今後の世田谷文学館の活動として、当館ならではの発信を、さまざまな媒体で行っていききたいと考えている。そのひとつが令和4年1月に開始した「ほんとわラジオ」放送である。ライフスタイルも多様化している現在、多彩なコンテンツをきめ細やかに届けることがこれからの発信者と受け手の関わり方となるだろう。時代に即した「セタブン」発の「文学」の魅力を伝えていきたい。

当館の次なる目標は利用者おひとりおひとりの「サードプレイス」となることである。館内、そして館外へ。その役割を果たすために着実に歩んでいく。

4. 重要な契約の概要

契約件名	契約年月日	相手方	契約の概要
世田谷区文化施設の管理運営に関する基本協定	平成29年4月1日	世田谷区長	<p>1 (公財)せたがや文化財団は、世田谷区立世田谷美術館、世田谷区立世田谷文学館、世田谷区立世田谷文化生活情報センターの指定管理者として、世田谷区立世田谷美術館条例第18条、世田谷区立世田谷文学館条例第18条及び世田谷区立世田谷文化生活情報センター条例第20条の規定により、次に掲げる業務を行う。</p> <p>(1)世田谷区立世田谷美術館</p> <p>① 美術館条例第2条第2号から第8号までに規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務</p> <p>② 美術館の利用の承認等に関する業務</p> <p>③ 美術館の施設及び施設の維持管理に関する業務</p> <p>④ その他、世田谷区が必要と認める業務</p> <p>(2)世田谷区立世田谷文学館</p> <p>① 文学館条例第2条第2号から第7号までに規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務</p> <p>② 文学館の利用の承認等に関する業務</p> <p>③ 文学館の施設及び設備の維持管理に関する業務</p> <p>④ その他、世田谷区が必要と認める業務</p> <p>(3)世田谷区立世田谷文化生活情報センター</p> <p>① センター条例第2条各号に規定する事業に関する業務のうち、世田谷区が指定した業務</p> <p>② センターの利用の承認に関する業務のうち、世田谷区が指定する業務</p> <p>③ センターの施設及び設備の維持管理に関する業務</p> <p>④ その他、世田谷区が必要と認める業務</p> <p>2 指定期間は平成29年4月1日から平成34年(令和4年)3月31日までの5年間とする。</p>
世田谷区文化施設の管理に関する年度協定	令和3年4月1日	世田谷区長	<p>1 (公財)せたがや文化財団は、世田谷区立世田谷美術館、世田谷区立世田谷文学館、世田谷区立世田谷文化生活情報センターの指定管理者として、世田谷区文化施設の管理運営に関する基本協定及び年度協定の仕様書に定める業務を行う。</p> <p>2 協定期間は令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間とする。</p>

5. 登記事項

代表理事変更登記

令和3年7月8日 登記

令和3年6月18日付 代表理事変更(1名退任、1名就任)

理事変更登記

令和3年4月16日 登記

令和3年3月31日付 理事変更(1名辞任)

令和3年4月 1日付 理事変更(1名就任)

令和3年7月8日 登記

令和3年6月18日付 理事変更(5名重任、5名退任、5名就任)

令和3年7月8日 登記

令和3年7月 1日付 理事変更(1名就任)

監事変更登記

令和3年4月16日 登記

令和3年3月31日付 監事変更(1名辞任)

令和3年4月 1日付 監事変更(1名就任)

評議員変更登記

令和3年12月9日 登記

令和3年11月30日付 評議員変更(1名辞任)

令和3年12月 1日付 評議員変更(1名就任)

6. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

回	開催日	議案番号	件名
第1回 定時 (オンライン併用)	令和3年 5月28日	議案第1号	令和2年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第二次)について
		議案第2号	令和2年度公益財団法人せたがや文化財団事業報告について
		議案第3号	令和2年度公益財団法人せたがや文化財団の決算について
		議案第4号	公益財団法人せたがや文化財団総合職員就業規程の一部改正について
		議案第5号	公益財団法人せたがや文化財団役員及び評議員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部改正について
		議案第6号	令和3年度公益財団法人せたがや文化財団第1回評議員会(定時)の招集について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団理事長及び常務理事の職務執行状況について 第5期世田谷区文化施設の指定管理提案に係る提案書の検討について 緊急事態宣言等に伴う公益財団法人せたがや文化財団の対応について
第2回 臨時 (オンライン併用)	令和3年 6月18日	議案第7号	公益財団法人せたがや文化財団理事長の選定について
		議案第8号	公益財団法人せたがや文化財団常務理事の選定について
		報告事項	第5期世田谷区文化施設の指定管理提案に係る提案書の提出について 緊急事態宣言等に伴う公益財団法人せたがや文化財団の対応について
第3回 臨時 (書面開催)	令和3年 11月26日	議案第9号	令和3年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第一次)について
		議案第10号	令和3年度公益財団法人せたがや文化財団第2回評議員会(臨時)の招集について
		報告事項	令和4年度からの公益財団法人せたがや文化財団の指定管理業務受託について

第4回 定時 (オンライン併用)	令和4年 2月24日	議案第11号	令和3年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第二次)について
		議案第12号	令和4年度公益財団法人せたがや文化財団事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
		議案第13号	令和3年度公益財団法人せたがや文化財団第3回評議員会(臨時)の招集について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団の今後の障害者雇用について
			みなし決議(決議の省略)における電磁的記録(電子メール)の利用について
		令和3年度理事会提出議案の管理番号訂正について	
		公益財団法人せたがや文化財団理事長及び常務理事の職務執行状況について	
第5回 臨時 (書面開催)	令和4年 3月25日	議案第14号	令和3年度公益財団法人せたがや文化財団第4回評議員会(臨時)の招集について
		議案第15号	公益財団法人せたがや文化財団総合職員就業規程の一部改正について
		議案第16号	公益財団法人せたがや文化財団個人情報保護規程の一部改正について
第6回 臨時 (書面開催)	令和4年 3月30日	議案第17号	公益財団法人せたがや文化財団事務局長の任免について
		議案第18号	公益財団法人せたがや文化財団常務理事の選定について

(2) 評議員会

回	開催日	議案番号	件名
第1回 定時 (オンライン併用)	令和3年 6月18日	議案第1号	令和2年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第二次)について
		議案第2号	令和2年度公益財団法人せたがや文化財団事業報告について
		議案第3号	令和2年度公益財団法人せたがや文化財団の決算について
		議案第4号	公益財団法人せたがや文化財団役員及び評議員の報酬等及び費用弁償に関する規程の一部改正について
		議案第5号	公益財団法人せたがや文化財団理事長の報酬について
		議案第6号	公益財団法人せたがや文化財団理事の選任について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団総合職員就業規程の一部改正について 第5期世田谷区文化施設の指定管理提案に係る提案書の提出について 緊急事態宣言等に伴う公益財団法人せたがや文化財団の対応について
第2回 臨時 (書面開催)	令和3年 11月30日	議案第7号	令和3年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第一次)について
		議案第8号	公益財団法人せたがや文化財団評議員の選任について
		報告事項	令和4年度からの公益財団法人せたがや文化財団の指定管理業務受託について
第3回 臨時 (オンライン併用)	令和4年 3月10日	議案第9号	令和3年度公益財団法人せたがや文化財団補正予算(第二次)について
		議案第10号	令和4年度公益財団法人せたがや文化財団事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
		議案第11号	公益財団法人せたがや文化財団理事長の報酬について
		報告事項	公益財団法人せたがや文化財団の今後の障害者雇用について みなし決議(決議の省略)における電磁的記録(電子メール)の利用について
第4回 臨時 (書面開催)	令和4年 3月28日	議案第12号	公益財団法人せたがや文化財団理事の選任について
		議案第13号	公益財団法人せたがや文化財団監事の選任について

7. 役員名簿

(令和4年3月31日現在)

【理事:11名】

【任期:令和3年6月18日から令和5年度定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏名	備考
理事長	青柳 正規	公益財団法人せたがや文化財団 理事長
常務理事	高 萩 宏	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター館長
常務理事	酒井 忠康	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷美術館館長
常務理事	亀山 郁夫	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館館長
常務理事	城 倉 茂	公益財団法人せたがや文化財団 事務局長
理事	江國 香織	小説家
理事	熊谷 吏夏	弁護士
理事	桑島 俊彦	東京都商店街振興組合連合会理事長
理事	武濤 京子	昭和音楽大学名誉教授・客員教授
理事	名見 耶 明	元公益財団法人五島美術館副館長 筆の里工房副館長
理事	板東 久美子	日本司法支援センター理事長

【監事:2名】

【任期:令和元年6月18日から令和5年度定時評議員会の終結の時まで】

監事	鈴木 重雄	公認会計士・税理士
監事	原田 茂実	世田谷区会計管理者

8. 評議員名簿

(令和4年3月31日現在)

【評議員:11名】

【任期:令和元年6月18日から令和5年度定時評議員会の終結の時まで】

氏名	備考
秋山 光文	お茶の水女子大学名誉教授・目黒区美術館館長
朝生 公章	区内企業代表
上田 啓子	世田谷区町会総連合会副会長
大笹 吉雄	演劇評論家
木村 慶子	医学博士・前慶應義塾大学教授
佐々木 健二	弁護士
島田 成年	東京商工会議所世田谷支部副会長
田村 哲夫	学校法人渋谷教育学園理事長・学校法人青葉学園理事長
丹治 誠	元日本銀行理事
丹羽 正明	音楽評論家
萩原 朔美	多摩美術大学名誉教授・前橋文学館館長

9. 財団幹部名簿

(令和4年3月31日現在)

職務名	氏名	備考
理事長	青柳 正規	
事務局長	城倉 茂	常務理事
統括部長	山田 実	
世田谷文化生活情報センター館長	高萩 宏	常務理事
副館長	松下 洋章	
総務部長	志賀 毅一	
生活工房室長	岩船 弘美	
劇場部長	小林 千洋	
技術部長	熊谷 明人	
音楽事業部長	蓑輪 勇二	
国際事業部長	松下 洋章	副館長事務取扱
世田谷美術館館長	酒井 忠康	常務理事
副館長	橋本 善八	
総務部長	山田 実	事務局統括部長兼務
学芸部長	橋本 善八	副館長事務取扱
世田谷文学館館長	亀山 郁夫	常務理事
副館長	花房 千里	
総務部長	花房 千里	副館長事務取扱
学芸部長	中垣 理子	
芸術監督	野村 萬斎	
音楽監督	池辺 晋一郎	

財 務 諸 表

1. 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
①現金預貯金	576,000,237	510,684,400	65,315,837
②未収入金	179,132,140	243,693,540	△ 64,561,400
③商品	31,100,663	36,167,608	△ 5,066,945
④貯蔵品	471,156	436,429	34,727
⑤前払金	5,642,751	2,473,905	3,168,846
⑥立替金	660,628	0	660,628
流 動 資 産 合 計	793,007,575	793,455,882	△ 448,307
2. 固定資産			
(1)基本財産			
①国公債	652,317,086	653,404,851	△ 1,087,765
②預貯金	147,682,914	146,595,149	1,087,765
基 本 財 産 合 計	800,000,000	800,000,000	0
(2)特定資産			
①退職給付引当資産	260,554,317	272,566,480	△ 12,012,163
②文化芸術充実積立資産	0	5,370,000	△ 5,370,000
③次世代育成積立資産	0	3,190,000	△ 3,190,000
④周年事業積立資産	0	3,800,000	△ 3,800,000
⑤使途指定寄付積立資産	6,466,000	5,844,000	622,000
特 定 資 産 合 計	267,020,317	290,770,480	△ 23,750,163
(3)その他の固定資産			
①建物附属設備	68,074,174	51,853,298	16,220,876
減価償却累計額	△ 33,384,922	△ 29,172,909	△ 4,212,013
②器具備品	136,820,877	117,617,981	19,202,896
減価償却累計額	△ 90,117,372	△ 79,025,308	△ 11,092,064
③リース資産	91,486,492	78,518,668	12,967,824
減価償却累計額	△ 33,047,347	△ 25,887,515	△ 7,159,832
④ソフトウェア	12,124,502	16,042,535	△ 3,918,033
⑤保証金等	60,000	60,000	0
⑥大規模事業等実施積立金	31,500,000	31,500,000	0
⑦経営安定化積立金	215,000,000	215,000,000	0
⑧事故対策積立金	90,000,000	90,000,000	0
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	488,516,404	466,506,750	22,009,654
固 定 資 産 合 計	1,555,536,721	1,557,277,230	△ 1,740,509
資 産 合 計	2,348,544,296	2,350,733,112	△ 2,188,816
II 負債の部			
1. 流動負債			
①未払金	245,073,957	328,820,556	△ 83,746,599
②前受金	25,816,700	1,413,227	24,403,473
③預り金	144,482,728	106,426,076	38,056,652
④賞与引当金	29,141,760	29,919,705	△ 777,945
⑤リース債務	18,832,001	15,391,317	3,440,684
流 動 負 債 合 計	463,347,146	481,970,881	△ 18,623,735
2. 固定負債			
①退職給付引当金	260,554,317	272,566,480	△ 12,012,163
②リース債務	40,932,159	38,303,932	2,628,227
③長期前受金	1,233,280	0	1,233,280
固 定 負 債 合 計	302,719,756	310,870,412	△ 8,150,656
負 債 合 計	766,066,902	792,841,293	△ 26,774,391
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
①受取寄附金	6,466,000	5,844,000	622,000
②世田谷区出捐金	800,000,000	800,000,000	0
指定正味財産合計	806,466,000	805,844,000	622,000
(うち基本財産への充当額)	(800,000,000)	(800,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,466,000)	(5,844,000)	(622,000)
2. 一般正味財産	776,011,394	752,047,819	23,963,575
(うち基本財産への充当額)			(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(18,204,000)	(△ 18,204,000)
正 味 財 産 合 計	1,582,477,394	1,557,891,819	24,585,575
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	2,348,544,296	2,350,733,112	△ 2,188,816

2. 損益計算書(正味財産増減計算書)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増 減
I	一般正味財産の部			
	1 経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	2,619,073	4,118,002	△ 1,498,929
	基本財産運用益	2,619,073	4,118,002	△ 1,498,929
	特定資産運用益	764,812	797,408	△ 32,596
	特定資産運用益	764,812	797,408	△ 32,596
	事業収益	1,168,171,120	1,020,579,291	147,591,829
	事業運営収益	608,528,324	467,817,376	140,710,948
	区事業等受託収益	559,642,796	552,761,915	6,880,881
	受取区補助金	1,192,463,000	1,322,108,000	△ 129,645,000
	受取区補助金	1,192,463,000	1,322,108,000	△ 129,645,000
	受取助成金等	162,823,479	76,196,297	86,627,182
	受取助成金等	162,823,479	76,196,297	86,627,182
	受取寄附金	466,985	369,340	97,645
	受取寄附金	466,985	369,340	97,645
	受取負担金	15,058,823	17,221,496	△ 2,162,673
	受取負担金	15,058,823	17,221,496	△ 2,162,673
	雑収益	362,152	488,805	△ 126,653
	雑収益	242,889	203,785	39,104
	受取利息	119,263	285,020	△ 165,757
	経常収益計	2,542,729,444	2,441,878,639	100,850,805
	(2) 経常費用			
	事業費	2,511,196,279	2,403,518,784	107,677,495
	給料手当等	762,821,746	744,876,031	17,945,715
	賞与引当金繰入	29,079,416	29,844,155	△ 764,739
	退職給付費用	29,298,815	32,939,336	△ 3,640,521
	交際費	278,776	176,896	101,880
	会議費	144,561	215,359	△ 70,798
	旅費交通費	2,666,428	2,483,803	182,625
	通信運搬費	8,940,638	9,314,948	△ 374,310
	消耗経費	34,593,291	39,207,537	△ 4,614,246
	印刷製本費	33,297,675	31,494,307	1,803,368
	保険料	3,706,290	3,868,038	△ 161,748
	修繕費	17,499,597	24,394,127	△ 6,894,530
	光熱水費	8,161,180	6,685,766	1,475,414
	諸謝金	33,302,315	24,153,724	9,148,591
	支払負担金	83,175,034	58,714,444	24,460,590
	委託費	763,062,736	800,359,971	△ 37,297,235
	使用料及び賃借料	40,834,848	44,748,778	△ 3,913,930

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増 減
	支払手数料	20,255,537	31,137,481	△ 10,881,944
	広報宣伝費	57,883,063	55,398,412	2,484,651
	臨時雇賃金	71,916,124	63,501,390	8,414,734
	租税公課	19,919,570	18,756,072	1,163,498
	上演出演料	244,618,417	208,017,501	36,600,916
	舞台費	129,466,944	90,433,007	39,033,937
	制作企画費	72,505,304	42,565,787	29,939,517
	商品仕入	2,123,992	1,541,776	582,216
	減価償却費	39,905,335	36,720,136	3,185,199
	支払利息（リース債務）	1,735,747	1,962,602	△ 226,855
	雑費	2,900	7,400	△ 4,500
	管理費	7,424,626	6,885,587	539,039
	役員報酬	4,638,237	4,477,893	160,344
	給料手当等	1,511,973	1,839,523	△ 327,550
	賞与引当金繰入	62,344	75,550	△ 13,206
	退職給付費用	56,031	51,523	4,508
	通信運搬費	83,654	51,212	32,442
	消耗経費	172,125	1,741	170,384
	保険料	15,980	14,750	1,230
	委託費	178,200	0	178,200
	減価償却費	705,782	373,395	332,387
	租税公課	300	0	300
	経常費用計	2,518,620,905	2,410,404,371	108,216,534
	当期経常増減額	24,108,539	31,474,268	△ 7,365,729
2	経常外増減の部			
	(1) 経常外収益			
	経常外収益計	0	0	0
	(2) 経常外費用			
	流動資産除却損	4,963	517,524	△ 512,561
	流動資産除却損	4,963	517,524	△ 512,561
	商品除却損	4,963	517,524	△ 512,561
	固定資産除却損	1	7	△ 6
	固定資産除却損	1	7	△ 6
	固定資産除却損	1	7	△ 6
	経常外費用計	4,964	517,531	△ 512,567
	当期経常外増減額	△ 4,964	△ 517,531	512,567
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	24,103,575	30,956,737	△ 6,853,162
	法人税、都民税及び事業税	140,000	0	140,000
	当期一般正味財産増減額	23,963,575	30,956,737	△ 6,993,162
	一般正味財産期首残高	752,047,819	721,091,082	30,956,737
	一般正味財産期末残高	776,011,394	752,047,819	23,963,575

(単位：円)

科 目		当年度	前年度	増 減
Ⅱ 指定正味財産の部				
	受取寄附金	622,000	5,844,000	△ 5,222,000
	基本財産運用益	2,619,073	4,118,002	△ 1,498,929
	一般正味財産への振替額	2,619,073	4,118,002	△ 1,498,929
	当期指定正味財産増減額	622,000	5,844,000	△ 5,222,000
	指定正味財産期首残高	805,844,000	800,000,000	5,844,000
	指定正味財産期末残高	806,466,000	805,844,000	622,000
Ⅲ 正味財産期末残高		1,582,477,394	1,557,891,819	24,585,575

(1)損益計算書(正味財産増減計算書)内訳表

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援及び 振興に関する事業	
I 一般正味財産の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
	基本財産運用益	0	0	0
	基本財産運用益	0	0	0
	基本財産運用益	0	0	0
	特定資産運用益	764,812	0	764,812
	特定資産運用益	764,812	0	764,812
	特定資産運用益	764,812	0	764,812
	事業収益	1,135,591,613	210,000	1,135,801,613
	事業運営収益	575,948,817	210,000	576,158,817
	事業運営収益	575,948,817	210,000	576,158,817
	区事業等受託収益	559,642,796	0	559,642,796
	指定管理受託収益	510,815,975	0	510,815,975
	区事業受託収益	48,826,821	0	48,826,821
	受取区補助金	1,156,869,000	35,594,000	1,192,463,000
	受取区補助金	1,156,869,000	35,594,000	1,192,463,000
	受取区補助金	1,156,869,000	35,594,000	1,192,463,000
	受取助成金等	162,823,479	0	162,823,479
	受取助成金等	162,823,479	0	162,823,479
	受取助成金	162,823,479	0	162,823,479
	受取寄附金	466,985	0	466,985
	受取寄附金	466,985	0	466,985
	受取寄附金	466,985	0	466,985
	受取負担金	10,041,807	0	10,041,807
	受取負担金	10,041,807	0	10,041,807
	受取負担金	10,041,807	0	10,041,807
	雑収益	362,042	0	362,042
	雑収益	242,779	0	242,779
	雑収益	242,779	0	242,779
	受取利息	119,263	0	119,263
	受取利息	119,263	0	119,263
	経常収益計	2,466,919,738	35,804,000	2,502,723,738

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	2,619,073		2,619,073
0	0	0	2,619,073		2,619,073
0	0	0	2,619,073		2,619,073
0	0	0	0		764,812
0	0	0	0		764,812
0	0	0	0		764,812
29,506,511	2,862,996	32,369,507	0		1,168,171,120
29,506,511	2,862,996	32,369,507	0		608,528,324
29,506,511	2,862,996	32,369,507	0		608,528,324
0	0	0	0		559,642,796
0	0	0	0		510,815,975
0	0	0	0		48,826,821
0	0	0	0		1,192,463,000
0	0	0	0		1,192,463,000
0	0	0	0		1,192,463,000
0	0	0	0		162,823,479
0	0	0	0		162,823,479
0	0	0	0		162,823,479
0	0	0	0		466,985
0	0	0	0		466,985
0	0	0	0		466,985
415,831	4,601,185	5,017,016	0		15,058,823
415,831	4,601,185	5,017,016	0		15,058,823
415,831	4,601,185	5,017,016	0		15,058,823
110	0	110	0		362,152
110	0	110	0		242,889
110	0	110	0		242,889
0	0	0	0		119,263
0	0	0	0		119,263
29,922,452	7,464,181	37,386,633	2,619,073	0	2,542,729,444

科 目	公益目的事業会計		
	公1	公2	小計
	文化芸術の振興、地域文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業	市民活動の支援及び振興に関する事業	
(2) 経常費用			
事業費	2,459,822,099	27,813,926	2,487,636,025
給料手当等	747,717,048	14,133,291	761,850,339
賞与引当金繰入	28,689,726	343,485	29,033,211
退職給付費用	29,208,743	40,692	29,249,435
交際費	278,776	0	278,776
会議費	144,561	0	144,561
旅費交通費	2,665,208	1,220	2,666,428
通信運搬費	7,966,834	33,257	8,000,091
消耗経費	32,823,169	1,331,904	34,155,073
印刷製本費	33,215,304	81,361	33,296,665
保険料	3,686,410	19,880	3,706,290
修繕費	17,499,597	0	17,499,597
光熱水費	3,316,081	0	3,316,081
諸謝金	32,622,498	679,817	33,302,315
支払負担金	82,782,034	393,000	83,175,034
委託費	745,714,330	9,068,806	754,783,136
使用料及び賃借料	37,181,094	1,207,307	38,388,401
支払手数料	17,579,671	3,477	17,583,148
広報宣伝費	57,880,781	2,282	57,883,063
臨時雇賃金	71,494,755	421,369	71,916,124
租税公課	19,500,656	3,164	19,503,820
上演出演料	244,618,417	0	244,618,417
舞台費	129,466,944	0	129,466,944
制作企画費	72,505,304	0	72,505,304
商品仕入	62,260	0	62,260
減価償却費	39,463,251	49,614	39,512,865
支払利息（リース債務）	1,735,747	0	1,735,747
雑費	2,900	0	2,900

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
18,127,694	5,432,560	23,560,254			2,511,196,279
800,148	171,259	971,407			762,821,746
36,797	9,408	46,205			29,079,416
38,655	10,725	49,380			29,298,815
0	0	0			278,776
0	0	0			144,561
0	0	0			2,666,428
834,947	105,600	940,547			8,940,638
438,218	0	438,218			34,593,291
1,010	0	1,010			33,297,675
0	0	0			3,706,290
0	0	0			17,499,597
193,049	4,652,050	4,845,099			8,161,180
0	0	0			33,302,315
0	0	0			83,175,034
8,279,600	0	8,279,600			763,062,736
2,390,540	55,907	2,446,447			40,834,848
2,672,389	0	2,672,389			20,255,537
0	0	0			57,883,063
0	0	0			71,916,124
303,292	112,458	415,750			19,919,570
0	0	0			244,618,417
0	0	0			129,466,944
0	0	0			72,505,304
2,061,732	0	2,061,732			2,123,992
77,317	315,153	392,470			39,905,335
0	0	0			1,735,747
0	0	0			2,900

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援及び 振興に関する事業	
管理費				
	役員報酬			
	給料手当等			
	賞与引当金繰入			
	退職給付費用			
	通信運搬費			
	消耗経費			
	保険料			
	委託費			
	減価償却費			
	租税公課			
経常費用計		2,459,822,099	27,813,926	2,487,636,025
当期経常増減額		7,097,639	7,990,074	15,087,713
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計		0	0	0
(2) 経常外費用				
	流動資産除却損	4,963	0	4,963
	流動資産除却損	4,963	0	4,963
	商品除却損	4,963	0	4,963
	固定資産除却損	1	0	1
	固定資産除却損	1	0	1
	固定資産除却損	1	0	1
経常外費用計		4,964	0	4,964
当期経常外増減額		△ 4,964	0	△ 4,964
他会計振替前当期一般正味財産増減額		7,092,675	7,990,074	15,082,749
他会計振替額		6,878,360	0	6,878,360
法人税、都民税及び事業税		0	0	0
当期一般正味財産増減額		13,971,035	7,990,074	21,961,109
一般正味財産期首残高		616,291,667	85,444	616,377,111
一般正味財産期末残高		630,262,702	8,075,518	638,338,220
II 指定正味財産の部				
	受取寄附金	622,000	0	622,000
	基本財産運用益	0	0	0
	一般正味財産への振替額	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	622,000	0	622,000
	指定正味財産期首残高	5,844,000	0	5,844,000
	指定正味財産期末残高	6,466,000	0	6,466,000
III 正味財産期末残高		636,728,702	8,075,518	644,804,220

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
			7,424,626		7,424,626
			4,638,237		4,638,237
			1,511,973		1,511,973
			62,344		62,344
			56,031		56,031
			83,654		83,654
			172,125		172,125
			15,980		15,980
			178,200		178,200
			705,782		705,782
			300		300
18,127,694	5,432,560	23,560,254	7,424,626	0	2,518,620,905
11,794,758	2,031,621	13,826,379	△ 4,805,553	0	24,108,539
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0		4,963
0	0	0	0		4,963
0	0	0	0		4,963
0	0	0	0		1
0	0	0	0		1
0	0	0	0		1
0	0	0	0	0	4,964
0	0	0	0	0	△ 4,964
11,794,758	2,031,621	13,826,379	△ 4,805,553	0	24,103,575
△ 5,867,667	△ 1,010,693	△ 6,878,360	0		0
59,714	80,286	140,000	0		140,000
5,867,377	940,642	6,808,019	△ 4,805,553	0	23,963,575
115,678,700	13,424,306	129,103,006	6,567,702	0	752,047,819
121,546,077	14,364,948	135,911,025	1,762,149	0	776,011,394
0	0	0	0		622,000
0	0	0	2,619,073		2,619,073
0	0	0	2,619,073	0	2,619,073
0	0	0	0	0	622,000
0	0	0	800,000,000	0	805,844,000
0	0	0	800,000,000	0	806,466,000
121,546,077	14,364,948	135,911,025	801,762,149	0	1,582,477,394

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、取得価額と債券金額の差が金利の調整と認められるため償却原価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品については、最終仕入原価法を採用している。

(3) 固定資産の評価方法

有形固定資産については定額法により減価償却を実施している。

無形固定資産については定額法により減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、職員に対する退職給付金の支給に備えるため、職員退職手当支給規程に基づく期末要支給額を計上している。

賞与引当金については、職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

平成20年4月以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、「リース取引に関する会計基準」等を適用し、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引にかかる方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上している。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
国 公 債	653,404,851	0	1,087,765	652,317,086
定 期 預 貯 金	140,000,000	120,000,000	130,000,000	130,000,000
普 通 預 金	6,595,149	11,087,765	0	17,682,914
小 計	800,000,000	131,087,765	131,087,765	800,000,000
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	272,566,480	26,532,139	38,544,302	260,554,317
文化芸術充実積立資産	5,370,000	5,370,000	10,740,000	0
次世代育成積立資産	3,190,000	3,190,000	6,380,000	0
周年事業積立資産	3,800,000	800,000	4,600,000	0
使途指定寄附積立資産	5,844,000	6,466,000	5,844,000	6,466,000
小 計	290,770,480	42,358,139	66,108,302	267,020,317
合 計	1,090,770,480	173,445,904	197,196,067	1,067,020,317

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当 額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
国 公 債	652,317,086	(652,317,086)	—	—
定 期 預 貯 金	130,000,000	(130,000,000)	—	—
普 通 預 金	17,682,914	(17,682,914)	—	—
小 計	800,000,000	(800,000,000)	—	—
特定資産				
退 職 給 付 引 当 資 産	260,554,317	—	—	(260,554,317)
文化芸術充実積立資産	0	—	—	—
次世代育成積立資産	0	—	—	—
周年事業積立資産	0	—	—	—
使途指定寄附積立資産	6,466,000	(6,466,000)	—	—
小 計	267,020,317	(6,466,000)	—	(260,554,317)
合 計	1,067,020,317	(806,466,000)	—	(260,554,317)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
静岡県公債 平成 25 年第 4 回	146,031,840	147,547,600	1,515,760
東京都公債 第 741 回	100,000,000	101,166,300	1,166,300
第 116 回名古屋高速道路債券	106,285,246	106,009,000	△ 276,246
第 138 回名古屋高速道路債券	100,000,000	99,570,000	△ 430,000
第 155 回名古屋高速道路債券	200,000,000	196,200,000	△ 3,800,000
第 325 回利付国債 10 年	100,041,756	100,410,100	368,344
第 374 回大阪府公募公債	10,103,729	10,123,000	19,271
合 計	762,462,571	761,026,000	△ 1,436,571

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補 助 金 等 の 名 称	交 付 者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表 上の 記載区分
令和3年度 世田谷区 補助金	世田谷区	0	1,192,463,000	1,192,463,000	0	
芸術文化振興基金 (劇場・音楽堂等機 能強化推進事業)	独立行政法人 日本 芸術文化振興会	0	59,973,000	59,973,000	0	
芸術文化振興基金 (地域文化施設・展 示活動)		0	319,000	319,000	0	
文化芸術振興費補助 金 (文化施設の感染 拡大予防・活動支援 環境整備事業)	文化庁	0	2,137,589	2,137,589	0	
文化芸術振興費補助 金 (コロナ禍を乗り 越えるための文化芸 術活動の充実支援事 業)		0	10,000,000	10,000,000	0	
地域の文化・芸術活 動助成事業	一般財団法人 地域 創造	0	3,630,000	3,630,000	0	
一時支援金	中小企業庁	0	600,000	600,000	0	

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
障害者トライアル雇用助成金	東京労働局	0	240,000	240,000	0	
民間助成金	13件	0	85,923,890	85,923,890	0	
合計		0	1,355,286,479	1,355,286,479	0	

6. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末
						役員	事業				
基本財産の出資	世田谷区	東京都世田谷区	—	・公益財団法人せたがや文化財団に対する補助金交付	—	—	補助金事業の委託	財政支援	1,192,463,000	受取補助金等	0
				・世田谷区文化施設の管理運営に関する基本協定			業務委託	指定管理	510,815,975	区受託事業収益	0
				・事業の業務委託等			業務委託	事業の業務委託、実施委託	48,826,821	区受託事業収益	0

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	2,619,073
合計	2,619,073

8. その他

平成23年4月1日に公益財団法人に移行している。

3. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため、記載を省略する。

2. 引当金の明細

賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	29,919,705	29,141,760	29,919,705		29,141,760

退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	272,566,480	26,532,139	38,544,302		260,554,317

4. 財産目録

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	7,478,823
預貯金	三菱UFJ銀行三軒茶屋支店 三菱UFJ銀行世田谷支店 三菱UFJ銀行成城支店 みずほ銀行世田谷支店 三井住友銀行成城支店 三井住友銀行自由が丘支店 昭和信用金庫本店 昭和信用金庫三軒茶屋支店 世田谷信用金庫用賀支店 世田谷信用金庫駒沢支店 世田谷信用金庫烏山支店 世田谷桜丘三郵便局 東京中央農協千歳支店 世田谷目黒農協本店 ゆうちょ銀行	運転資金として	448,193,560 3,696,874 1,000 11,022,245 562,141 6,754,504 114,341 565,154 77,143,903 2,175,124 3,187,793 580,431 10,650,482 3,785,578 88,284
未収入金		区受託料、助成金、 チケット収入など	179,132,140
商品	各館ショップ等	ミュージアムショッ プ等の商品	31,100,663
貯蔵品	手元保管	収入印紙、郵券等	471,156
前払金		翌年度諸経費等	5,642,751
立替金		実行委員会経費立替	660,628
流動資産合計			793,007,575
(固定資産)			
基本財産	投資有価証券	静岡県公債 平成25年第4回 東京都公債 第741回 第116回名古屋高速道路債券 第138回名古屋高速道路債券 第155回名古屋高速道路債券	基本財産による果実 を法人全体の管理費 に充てるための財産 146,031,840 100,000,000 106,285,246 100,000,000 200,000,000
	定期預貯金	世田谷目黒農協本店 昭和信用金庫本店	基本財産による果実 を法人全体の管理費 に充てるための財産 120,000,000 10,000,000
	普通預金	三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	基本財産による果実 を法人全体の管理費 に充てるための財産 17,682,914

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	退職給付引当資産	・有価証券 第325回利付国債 第374回大阪府公募債 ・定期預金 東京中央農協千歳支店 世田谷目黒農協本店 昭和信用金庫本店 ・普通預金 三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産	100,041,756 10,103,729 68,890,000 32,100,000 10,000,000 39,418,832
特定資産	使途指定寄付積立資産	・普通預金 三井住友銀行自由が丘支店	せたがや文化財団の自主事業のための資金として管理	6,466,000
その他の固定資産	建物附属設備	スポットライト、配線設備等	共有財産で次の割合で用に供している。 公益目的事業：97.9% 収益事業：2.1%	33,960,778 728,474
	器具備品	映像・音響システム、展示ケース等	共有財産で次の割合で用に供している。 公益目的事業：98.0% 収益事業：2.0%	45,769,435 934,070
	リース資産	サーバー、パソコン等一式	共有財産で次の割合で用に供している。 公益目的事業：97.6% 収益事業：0.4% 管理費：2.0%	57,036,606 233,756 1,168,783
	ソフトウェア	財団会計システム、美術館・文学館収蔵品管理システム等	共有財産で次の割合で用に供している。 公益目的事業：94.9% 管理費：5.1%	11,506,152 618,350
	敷金・保証金	駐車場保証金	公益目的事業の用に供している。	60,000
	大規模事業等実施積立金	・定期預金 三菱UFJ銀行世田谷支店 東京中央農協千歳支店	公益目的事業に充当する積立資産	15,000,000 16,500,000

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他の 固定資産	経営安定化積立金	・定期預金 昭和信用金庫本店 東京中央農協千歳支店 世田谷目黒農協本店	公益目的事業に充当 する積立資産	60,000,000
				22,550,000
	事故対策積立金	・普通預金 三菱UFJ銀行三軒茶屋支店	公益目的事業に充当 する積立資産	124,900,000
		・定期預金 世田谷信用金庫用賀支店 世田谷信用金庫烏山支店		7,550,000
				60,000,000
				30,000,000
固定資産合計				1,555,536,721
資産合計				2,348,544,296
(流動負債)				
	未払金		今年度事業費等	232,264,809
	前受金		未払法人税等 未払消費税等 未払社会保険料等	5,151,800
	預り金		チケット払い戻し分	144,638
	賞与引当金		翌年度事業チケット 収入、翌年度分施設 利用料	9,627,162
	リース債務		源泉所得税、住民 税、社会保険料等 チケット代	121,207,000
			職員への補助金返還額 受託販売商品の業者 支払い分等	29,141,760
			職員の賞与支払いに 備えた引当金	18,832,001
			リース会計処理に伴 う負債(1年以内に支 払うもの)	
流動負債合計				463,347,146
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金 支払いに備えた引当 金	260,554,317
	リース債務		リース会計処理に伴 う負債(1年を超えて 支払うもの)	40,932,159
	長期前受金		翌々年度以降分施設 利用料	1,233,280
固定負債合計				302,719,756
負債合計				766,066,902
正味財産				1,582,477,394


監査報告書

公益財団法人せたがや文化財団
理事長 青柳 正規 様

令和4年5月25日

公益財団法人せたがや文化財団

監事 鈴木重雄 

監事 太田一郎 

私たち監事は、当財団の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）＜並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項＞の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当財団の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書））及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

